

NPO 法人 みつばち百花の活動

「みつばち来てたよ、大調査」に参加しませんか

今号で紹介している「みつばち来てたよ、大調査」にあなたも参加してみませんか？

結果の閲覧だけでも、いや、やっぱり参加もしたい、という方、ぜひ、みつばち百花 web サイトのトップページの「巣」(右図)の中から「みつばち来てたよ、大調査」の六角形をクリックして下さい。詳しい調査の参加方法や関

覧方法のマニュアルをダウンロードしていただけます。クローズああ婦撮影ができなくても、GPS付きのカメラでなくても大丈夫。花とみつばちの種類がわかる画像であって、おおよその撮影地が特定できる情報があれば調査に参加できます。

花が好きの方、花や昆虫の写真撮影が好きの方、集まれ！



くにたち蜜源ガーデン

2012年から、国立市の350坪の畑で、地主さんを中心に、NPO法人くにたち富士見台人間環境キーステーション (KF) のメンバーさん、地元の養蜂家の方たちと始めた「くにたち蜜源ガーデン」。

ここでは、みつばちのための花々の、資源としての有用性の実証も行っています。みつばちだって、もちろん花なら何でよいというわけではないので、私たちの予想に反して相性が悪い花もあれば、意外な花をみつばちがこの上なく好むこともあって驚かされます。

ここでの実証結果を、下記データベースで発信するのが、みつばち百花の重大な使命。今年、全国で始まった養蜂植物増殖事業にも、植物種選定のための情報を提供して貢献しています。

この秋、いよいよ看板もでき、冬を前に、区画を再整理して、ずいぶん花壇らしい雰囲気になりました。外部の協力や支援を得て、新しい苗も購入し、来春にはまたさまざまな花が咲くでしょう。

※ Letter from Honeybees の Vol.3 はこのガーデン特集でした。ご希望の方は事務局まで。



蜜源・花粉源植物データベース、公開中！

種子や苗の入手が容易な草花を中心に、蜜源・花粉源として利用できる植物について、現在、約 300 種の情報を収録・公開しています。植えつけ時期、開花時期、ガーデンでのみつばちの訪花状況なども記載しています。

くにたち蜜源ガーデンでは、さまざまな植物を植え、みつばちの訪花を検証し、利用性を確認した上で、データベースに追加し、またブログでも情報を発信しています。ぜひ、ご覧ください。



花を増やそう！ 蜜源 / 花粉源データベース

◎蜜源・花粉源植物データベース <http://db.bee-happy.jp/>

花とみつばちの楽しい情報も満載しています。

◎みつばち百花ブログ <http://bee-happy.seesaa.net/>

◎日々の花とみつばち情報 <https://www.facebook.com/beehappy100>

みつばち百花では、みつばちをテーマにご要望に応じて楽しみながら自然科学を学び、体感できるセミナーや講座などをプロデュースしています。

みつばちの生態をわかりやすくお話したり、楽しいキャンドルづくり、ハチミツのテイस्टینگ「ワインのようにハチミツを楽しむ」、みつばちと花の関係を知る「ハニーウォーク」などを行っています。

お問い合わせ、ご希望は、事務局あてにどうぞ。

NPO 法人 みつばち百花 ニュースレター

みつばちと花と人をつなぐ Letter from Honeybees
みつばちからの手紙 Vol.4 (2013年12月)



お問い合わせは

メールアドレス info@bee-happy.jp
ファックス 0422-26-5071

LETTER FROM HONEYBEES

Vol.4 2013



あなたの庭に、畑に、里山に
みつばちは来ていますか？

A Thousand of Flowers for Bees

NPO みつばち百花

<http://bee-happy.jp/>

"Letter from Honeybees" はわたしたち「みつばち百花」から、みつばちと花と人をつなぐ情報をお届けするニュースレター、今号は「エコプロダクツ 2013」特集です。

「みつばち来てたよ、大調査」

NPO 法人みつばち百花では、富士通エフ・アイ・ピー株式会社から提供を受けた「生物情報収集システム」を利用して、みつばちと蜜源植物の調査「みつばち来てたよ、大調査」を実施しています。生物情報収集システムは、GPS 付き携帯電話で撮影した画像をクラウドデータベースに集積する「携帯フォトシステム」をベースに開発されたもので、日時および位置情報を含んだ画像を、メールでアップロードしてクラウド上に集積し、あとから一覧表示や分布表示ができるというものです。今回の調査では、みつばちの訪花画像を集めて、日本全国のさまざまな地域で、みつばちがどんな場所のどんな植物を利用しているかを明らかにしようとしています。

まだまだ十分なデータ量とはいえませんが、農村地域、養蜂生産地、都市郊外、都市部など、景観の異なるところで撮影されたみつばちの訪花現場画像が、2013年12月現在、290点集まっています。これらの画像をもとに、実際にみつばちが利用している植物の種類と、その資源としての利用性(花蜜原または花粉源、あるいは両方)、地域の資源としての多様性などに着目した解析を進めていきます。



生物情報収集システムのオープニング画面
<http://bio.ikimonosirabe.info/psystem/>



みつばち百花メンバーによるハニーウォーク

住宅地を歩き回りながら、みつばちの姿を探します。オフィスの入口に仕立てられた見事なナニワイバラにも来ていましたよ。これを撮影して、メール送信し、クラウド上のデータベースを構築していきます。

この調査の一部を、東京ビッグサイトで開催される環境展示会「エコプロダクツ 2013」(12月12～14日)の富士通ブースで発表します。都市部では、猫の額ほどの庭に咲く数株の花でも、みつばちは蜜や花粉を求めて通ってきます。そんな健気なみつばちに思いを寄せながらのプレゼン、最終日、12月14日の午後行われます。題して「みつばちと花のあんまり甘くない関係」。

今回の Letter from Honeybees では、このプレゼン内容に合わせて、都市のみつばちたちが利用している花を一覧で紹介しています。ここ数年、話題に上る機会の増えてきた都市部での養蜂。人間生活の利便性を追求した空間に、果たして、みつばちが利用できる花はあるのかと始めた調査の成果です。育てる人も多からか、実に多様な花が咲いている都会の花事情。でもみつばちにとってはどうなのでしょう。代々木公園など大型の緑地もある原宿周辺で、みつばちが通っている花を探してみました。



バラ (5-7月)

ヘアリーベッチ (4-5月)

ガウラ (7-9月)

カナメモチ (4-5月)

サルスベリ (7-9月)

ツツジ (4-5月)

ラベンダー (5-7月)

ハクウンボク (5月)

都市の花は多様で豊富?

H ミツバチの巣箱の設置場所

訪花現場

ガクアジサイ (6-7月)

アベリア (6-9月)

イヌツゲ (5-6月)

ノブドウ (6-8月)

ツツジ (4-5月)

ネズモチ (5-6月)

サルビア・ネモローサ (4-5月)

オオアワダチソウ (8月)

a トウネズモチとヤブカラシのジャングル (渋谷区神宮前5丁目)

b 小さな花壇の花も見逃さない (渋谷区神宮前3丁目)

c 「ミツバチの庭」しながら半野生化した団地の空き地部分 (港区北青山3丁目)

都市部では、ミツバチが訪れる花の種類だけを見ると、実に多様な印象を受けます。しかし、それぞれの絶対量が少ないことは、見逃せない特徴です。大型緑地を含めても、ある程度まとめて咲くのは、生け垣に利用されるツツジやイヌツゲなど、ごく一部の花に限られています。

このため、群れが1年に必要とする120kgの花蜜と20kgの花粉を、ミツバチは移り変わる小規模な花資源から集めざるを得ません。その結果、狭い探索範囲の中で、手当たり次第に花を訪れることになり、私たちの目には、一見、豊かな資源があるように見えてしまうのです。

オオバコ (8月)

ヒマワリ (7-9月)

ヤブカラシ (7-9月)